

《かしわらっ子の学びを支える授業づくり》

出会う

- ・教材との出会い方を工夫し、興味・関心を高め、「問い」「思い」を引き出す
「なぜ?」「どうして?」「どういうこと?」
「考えたい!」「調べたい!」「解きたい!」

具体物の提示

- 写真や図表、資料
- 既習事項のふりかえり
- 実物、実演
- 生活経験からの想起

ICT機器の活用 **一斉学習**

- 教材提示
- 挿絵や写真等を拡大・縮小
- 画面への書き込み等を活用して
わかりやすく説明

子どもたちの興味・関心を高める

- ・引き出した「問い」「思い」を基に、学習課題（めあて、課題）を設定する
1時間の授業で「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確に
→ ふりかえりで表現させる

向き合う

- ・見通しをもたせる
学習課題と既存・既習の経験や知識・技能を結びつける
「何を」「どのように」考えるのか
どのような結果が予想されるのか
サンプル
ワークシート
- ・“個”で考えさせる
時間の確保
一人ひとりの学びをていねいに見る ※机間指導の“見”方
個に応じた支援

個々の理解や関心の程度に応じた学び

ICT機器の活用 **個別学習**

- 自らの疑問について深く調べる
- シュミレーションやデータ分析、デジタル教材を用いて思考を深める
- 考えを整理、表現する → ※一人ひとりの学びを把握する
- 資料や作品の制作
- 自分に合った進捗で学習する

つなげる

- 友だちとの交流を通して、考えを共有・吟味させる。（思考の整理、新たな気付きや発想）
- ・考えを共有したり比較・検討したりする場の設定
- ・理由や根拠を基に判断する場の設定
- ・目的に応じたグループ編成（ペア、小グループ）
- ・活動にふさわしい人数設定

子どもたちの考えをもとに話し合いをコーディネート

- ・論点や議題の明確化→板書の工夫（吹き出し、線、色）
- ・全員を参加させる
- ・めあてにせまる「問い返し」や「ゆさぶり」などのしかけ

お互いに高め合う
思考力・表現力・判断力の育成

ICT機器の活用 **協働学習**

- 発表（プレゼンテーション）や話し合い
- 意見交換、意見整理
（複数の意見や考えを議論して整理する）
- 協働制作

ふりかえる

- 「何を」学習したか
自分の言葉でまとめる時間の確保（発達の段階に応じて）
- ・本時のねらいとまとめの整合
- ・学習した知識・技能を活用する活動の設定
（適用問題への取組み、作文、演奏や運動による表現など）

「どのように」学習してきたか

- ・板書やノートを基にした確認
- ・ペアやグループでの話し合い
- ・自己評価（学習日記など）や相互評価の活用

「新たな学び」に目を向けさせる。

- ・次時につながる気付きや疑問
- ・新たな「問い」や「思い・願い」を引き出す教材の提示
- ・次時の学習内容の紹介

ICT機器の活用

ふりかえり

- 記録の活用（自らの学びのふりかえり）

1時間の学びを
メタ認知